

需要創出に向けた環境省の取組方針

- **早期の国内市場形成と継続的な需要拡大のため、初期需要を牽引することが期待される公共部門や環境価値を高く評価する企業を中心に、①新規事業の形成と②需要側の課題解消に取り組み、2つの施策の好循環により需要側から社会実装を加速化。**
- **その際、一定の供給力の確保とコストの低減は不可欠であり、経済産業省や製造メーカー等と連携して進める。**

① 新規事業の形成

(1) 政府実行計画に基づく率先導入

- ✓ 一定の供給力の確保・コストの低減を前提に、**2035年に50~70MW、2040年に100MW以上の導入**を目指す。
- ✓ 目標実現に向け、**環境省施設を皮切りに、様々な用途の政府施設へ展開。**
- ✓ 関係省庁と連携した**独法・国立大学法人等の巻き込み。**

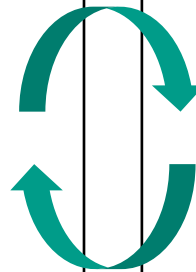
(2) 自治体の需要創出

- ✓ **案件形成が進んでいる先進的な自治体**に対するGX事業による**導入支援。**
- ✓ 地方環境局と連携し、**脱炭素に先進的に取り組んでいる自治体の計画策定支援の活用を促進。**
- ✓ 上記の先進的に取り組む自治体を中心に**導入目標設定の要請**（設定自治体はGX事業により優先的に支援）。

(3) 民間企業の需要創出

- ✓ **導入を積極的に検討している企業**に対するGX事業による**導入支援。**
- ✓ RE100を始めとしたニーズの大きな**業界団体等への働きかけによる需要創出**を実施。
- ✓ **VCの脱炭素化**に向けた脱炭素経営の高度化支援等を通じ、**中小企業等へ拡大。**

事例の
創出・分析



課題の解消

② 需要側の課題解消

課題1：施工費の低減（施工の標準化）

- ✓ GX事業等による導入例をもとに**施工のコスト構造を分析し、需要家の施工費の積算に資する資料を作成。**
- ✓ **施工方法や設計上の留意点に関する知見を蓄積・共有。**

課題2：地域における施工・保守等を担う事業者の確保

- ✓ GX事業等により導入された事例をもとに、**施工・保守等に関するノウハウを分析、整理。**
- ✓ 地域内事業者の参画促進等により、**地域における施工・保守等を担う事業者を育成。**

課題3：ペロブスカイト太陽電池に関する情報へのアクセス性の向上

- ✓ **導入意思決定に資する情報**（特徴、メリット、コストの考え方等）をまとめ、様々な媒体で普及啓発を実施。
- ✓ オンサイトPPA等の**第三者保有モデルによる事例創出等**による、**脱炭素ソリューションとしての展開。**